

ハンディターミナル専門委員会活動報告

■ハンディターミナル（モバイル端末）の 使用実態調査

ハンディターミナル専門委員会
山本 侑
2026年7月17日

2025年度 ハンディターミナル専門委員会 参加会社

■キャノン電子(株)

■シャープ(株)

■ステアリテール(株)

■富士通(株)

(五十音順)

※統計参加会社は上記4社＋統計のみ参加会社含め 計6社

1. ハンディターミナルの定義 ～ カテゴリーの説明

2. 国内出荷実績

参考 アンケート報告
ハンディターミナルの利用実態調査

1. ハンディターミナルの定義 ～ カテゴリーの説明

1. 1. ハンディターミナルの定義

- 1 業務用のデータ入力端末であるもの
- 2 アプリケーションプログラムが別のツールで開発され、ロードすることで動作可能なもの
- 3 バッテリー駆動であるもの
- 4 手に持って操作するもの

(注)タブレット端末、スマートフォンなどは除く

1. 2. ハンディターミナルの種類(カテゴリー)

スキャナー一体型～バーコードを読む

バーコードを読みとることができるスキャナー部が
本体に組み込まれている端末

画面の大小の違いで**グリップ型**と**PDA型**の2種類がある



グリップ型

PDA型

標準型～印刷する、データを入力する

プリンター一体型のもの、または
上記PDA型のうち、スキャナー非搭載のモデル



プリンターあり
(プリンター一体型)

プリンターなし
(スキャナーなしPDA型)

ノートパッド型～情報を見る

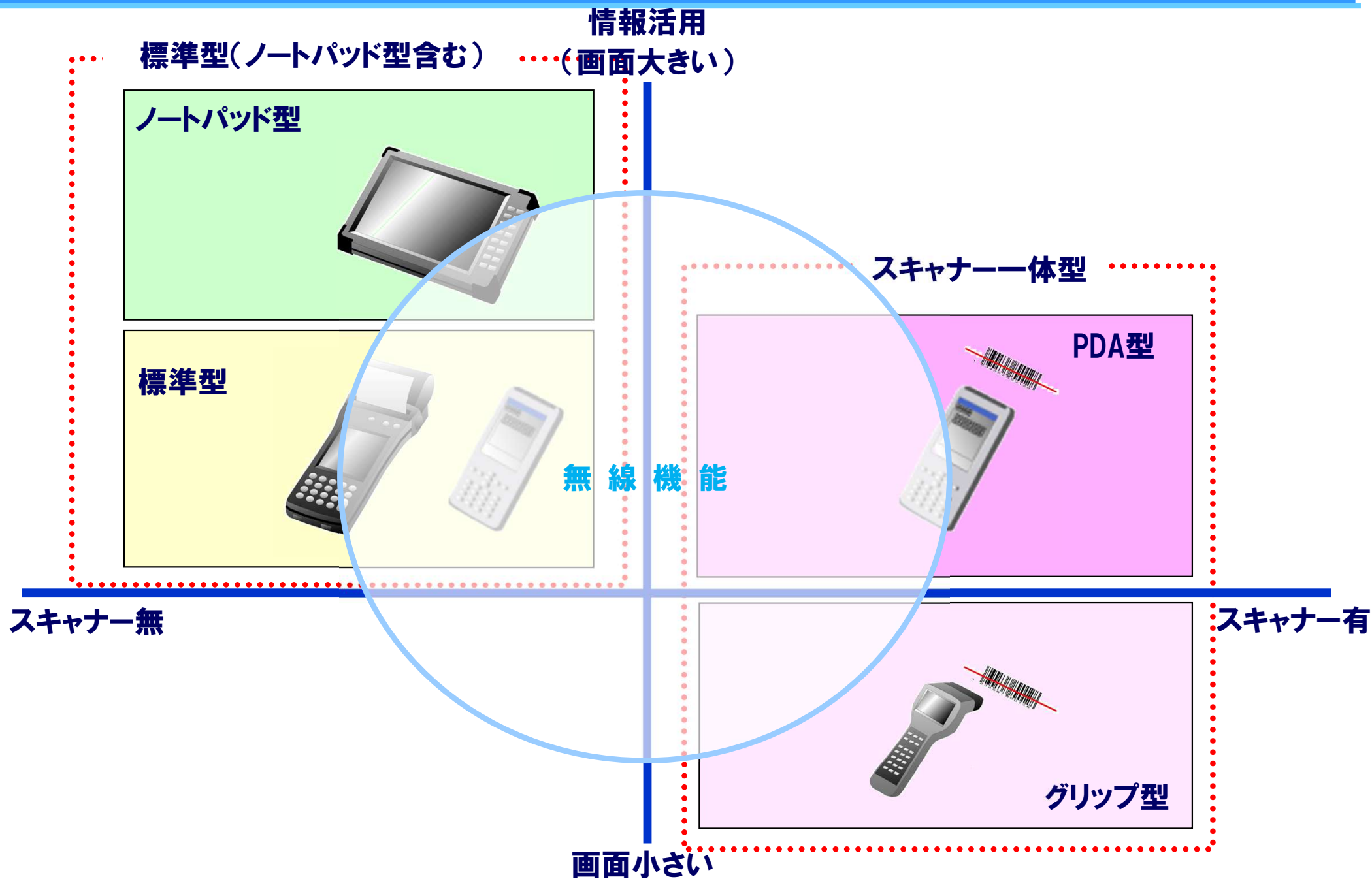
スキャナー一体型、標準型に属さないA4判サイズから
小型のパッド型までの業務用として開発された端末



ノートパッド型

実績はノートパッド型は標準型に含めて集計

1. 3. ハンディターミナルの 카테고리別位置づけ



2. 国内出荷実績

年度表記について:

2025 = 2025年度

期間:2025年4月1日～2026年3月31日

2. 1. 国内出荷実績

カテゴリー別

2. 1. 1. 2025年度 国内出荷実績(カテゴリー別)

スキャナー一体型



グリップ型



PDA型

7,630台
(19%)

標準型(ノートパッド型含む)



7,967台
(55%)

全体

出荷台数
15,597台
(29%) (対前年比)

出荷金額
1,747百万円
(21%) (対前年比)

1,747百万円
(21%)

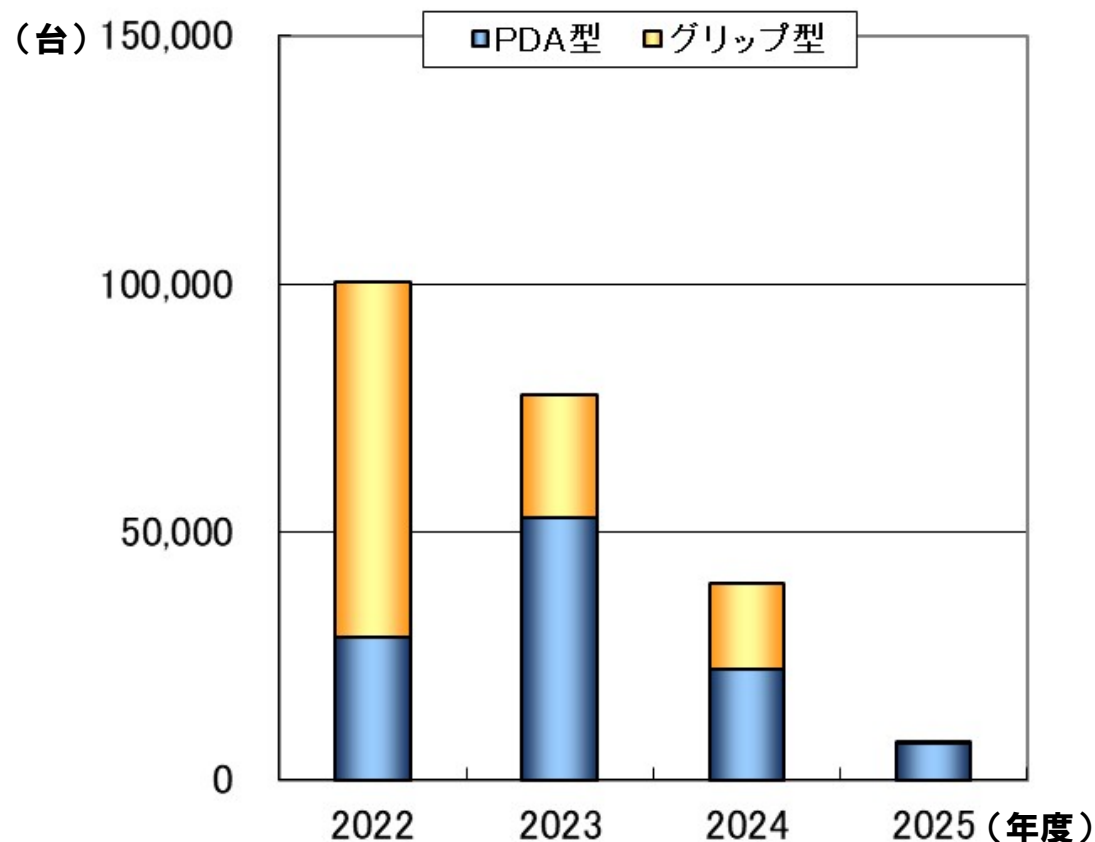
2. 1. 2. 国内出荷実績推移 スキャナー一体型

・出荷台数：7,630台 対前年比19%



出荷台数 (単位：台)

	2022	2023	2024	2025
出荷台数	100,219	77,600	39,627	7,630
対前年比	137%	77%	51%	19%



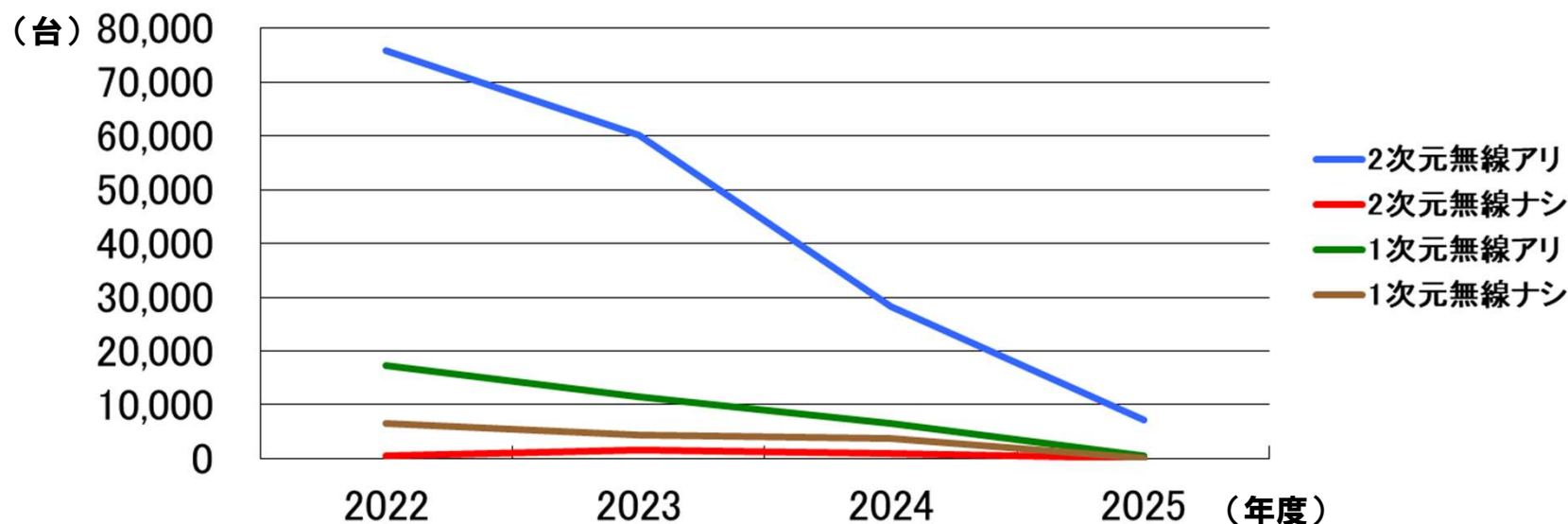
2. 1. 3. 国内出荷実績推移 スキャナー一体型

- ・ 出荷台数のうち2次元対応機：7,158 台（構成比94％ 対前年比25％）
- ・ 出荷台数のうち無線機能有：7,610 台（構成比100％ 対前年比22％）



スキャナー一体型 カテゴリ別 出荷実績（単位：台）

カテゴリ	無線機能	2022	2023	2024	2025	
		出荷台数			出荷台数	対前年比
2次元対応機	有	75,780	60,181	28,287	7,158	25%
	無	578	1,547	980	0	0%
1次元リーダーのみ	有	17,333	11,425	6,603	452	7%
	無	6,528	4,447	3,757	20	1%
計		100,219	77,600	39,627	7,630	19%



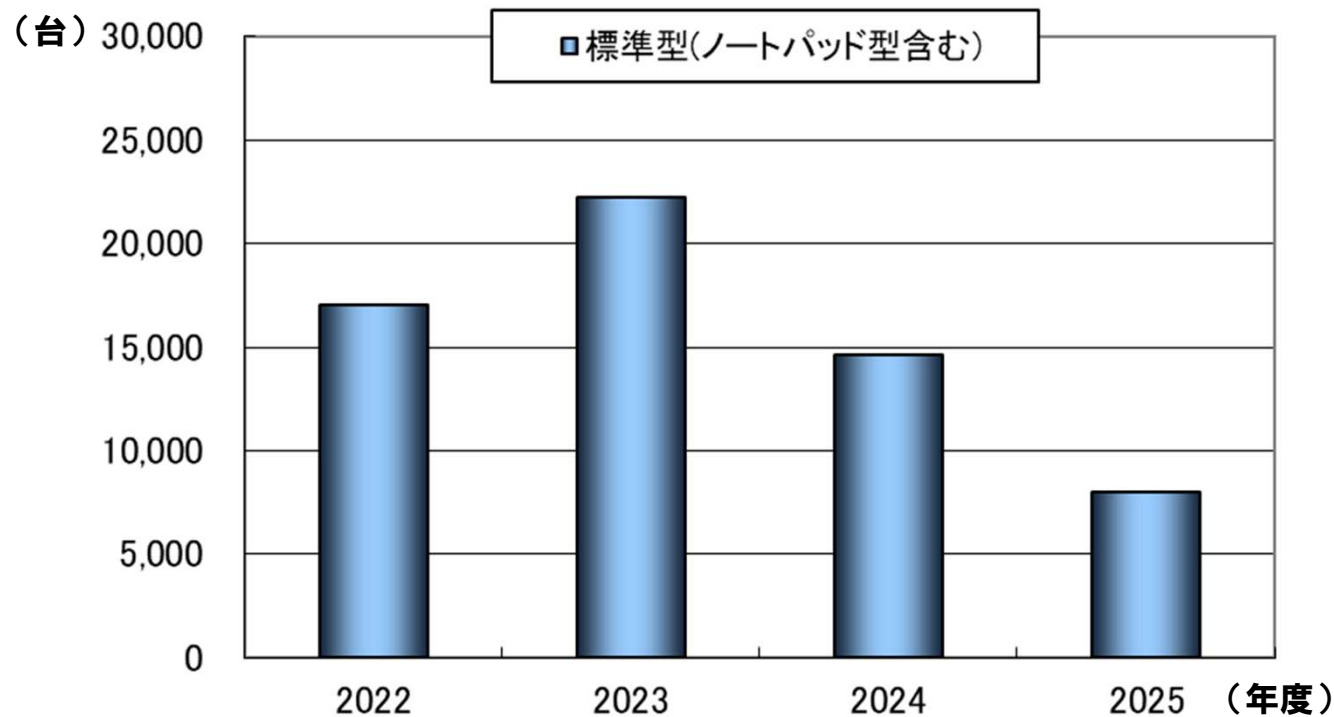
2. 1. 4. 国内出荷実績推移 標準型(ノートパッド型含む)

・出荷台数：7,967台 対前年比55%



出荷台数 (単位：台)

	2022	2023	2024	2025
出荷台数	17,067	22,233	14,617	7,967
対前年比	92%	130%	66%	55%



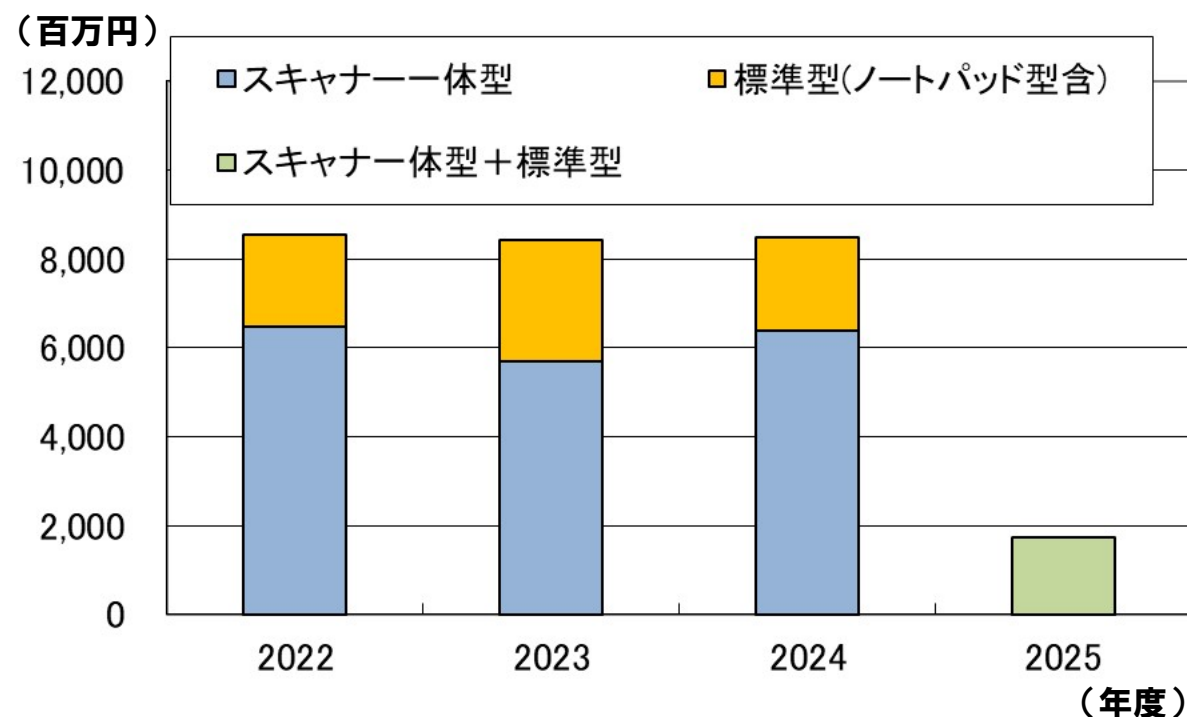
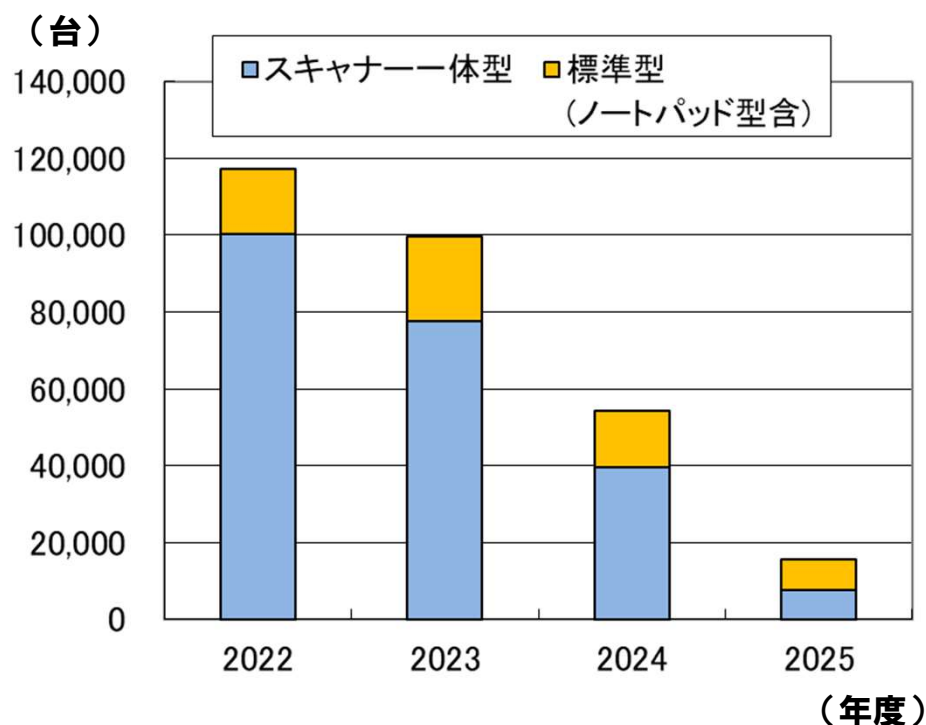
2. 1. 5. 国内出荷実績推移 カテゴリー別（まとめ）

出荷台数（単位：台）

	2022	2023	2024	2025
スキャナー 一体型	100,219	77,600	39,627	7,630
標準型 (ノートパッド型含)	17,067	22,233	14,617	7,967
合計 対前年比	117,286 128%	99,833 85%	54,244 54%	15,597 29%

出荷金額（単位：百万円）

	2022	2023	2024	2025
スキャナー 一体型	6,469	5,688	6,373	—
標準型 (ノートパッド型含)	2,074	2,725	2,126	—
合計 対前年比	8,543 119%	8,413 98%	8,499 101%	1,747 21%



2. 2. 国内出荷実績

業種別

2. 2. 1. ハンディターミナル集計における業種分類と用途

流通／小売業



- 店舗内の在庫管理
- 補充発注
- 接客にて在庫照会

スーパー、コンビニ、ホームセンター、
専門店、百貨店、小売業 など

運輸業



- 配達、集荷
- 荷物トレース

運送業 など

製造業



- 工程管理
- 入出庫

工場、ボトラー、ルートセールス など

その他

倉庫／物流業



- 入出庫
- ピッキング

配送センター など

電気／ガス／水道



- 検針
- 点検

金融・保険



- 渉外

医療



- 看護支援

医療施設、介護施設 など

2. 2. 2. 2025年度 国内出荷実績(業種別)

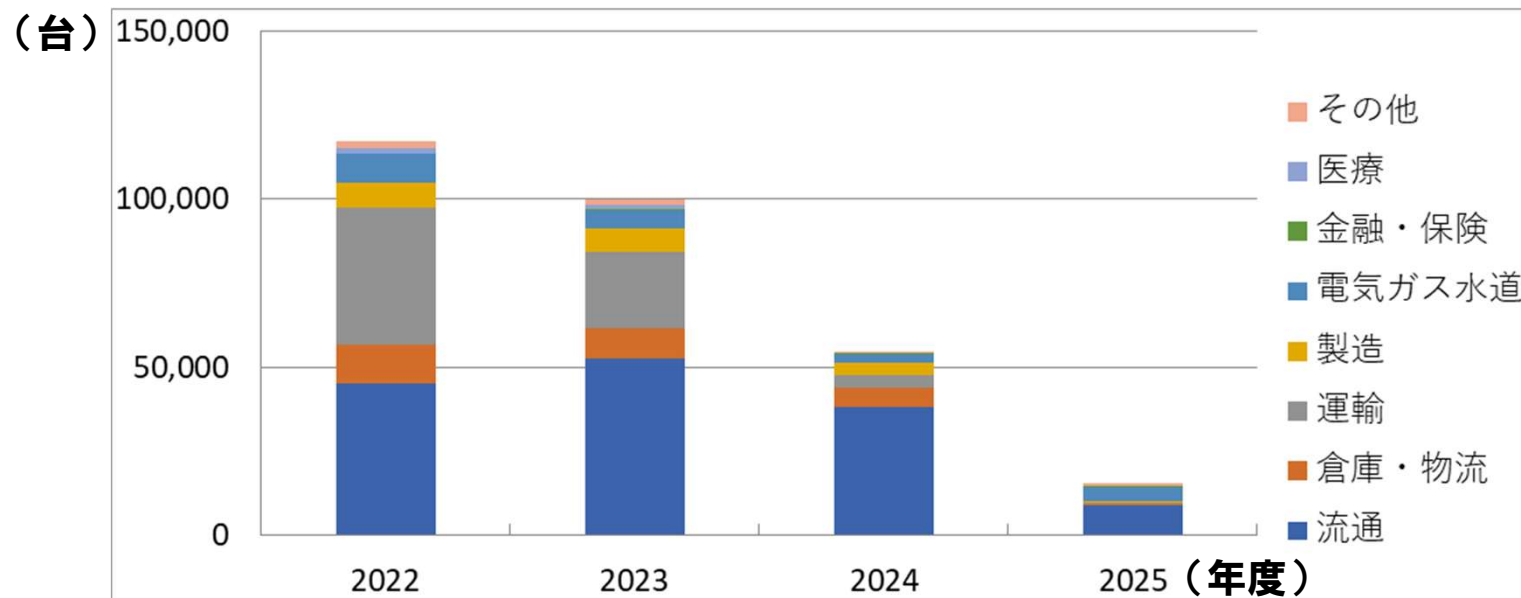


2. 2. 3. 2025年度 国内出荷実績（業種別・カテゴリー別）

黄色：構成比が高い業種 (単位：台)	ハンディ ターミナル全体	(スキャナー一体型) グリップ型	(スキャナー一体型) PDA型	標準型 (ノートパッド型含む)
流通／小売	① 9,052	0	① 6,212	② 2,840
倉庫／物流	195	① 139	56	0
運輸	363	0	26	337
製造	639	② 20	② 457	162
電気／ガス／水道	② 4,275	0	180	① 4,095
金融・保険	369	0	③ 294	75
医療	3	0	1	2
その他	③ 701	0	245	③ 456
計	15,597	159	7,471	7,967

2. 2. 4. 国内出荷実績推移(業種別まとめ)

(単位：台)	2022	2023	2024	2025			台数差
	台数			台数	構成比	前年差	
流通／小売	45,305	52,529	38,245	9,052	58%	▲29,193①	
倉庫／物流	11,459	9,147	5,770	195	1%	▲5,575②	
運輸	40,598	22,385	3,448	363	2%	▲3,085	
製造	7,600	7,095	3,812	639	4%	▲3,173③	
電気／ガス／水道	8,461	5,576	2,690	4,275	27%	1,585	
金融・保険	119	442	96	369	2%	273	
医療	1,548	905	55	3	0%	▲52	
その他	2,196	1,754	128	701	4%	573	
計	117,286	99,833	54,244	15,597	100%	▲38,647	

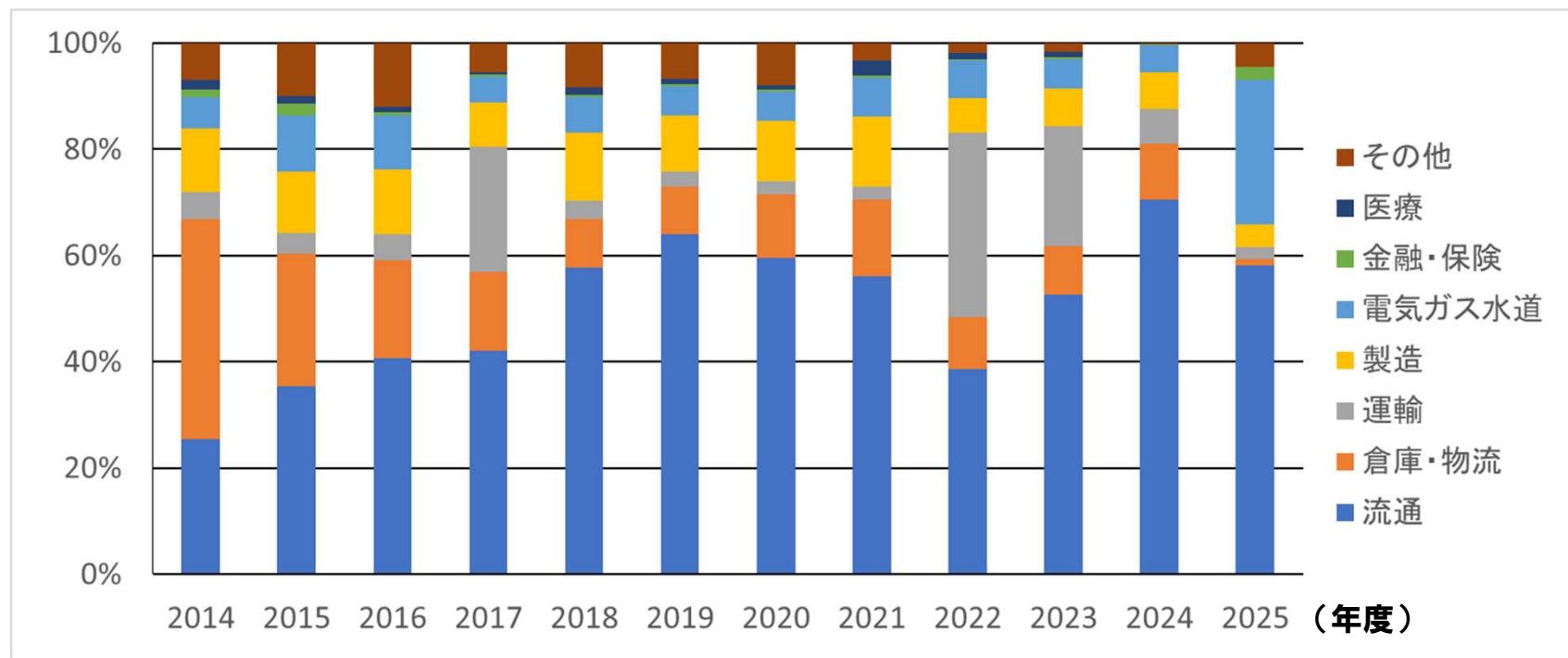


2. 2. 5. 業種別国内出荷台数（業種比率）

全体 出荷台数(国内)2014～2025

出荷台数（単位:台）

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
流通	58,562	70,955	61,756	95,136	78,520	119,641	71,255	51,373	45,305	52,529	38,245	9,052
倉庫・物流	96,395	50,383	28,009	33,322	12,564	16,752	14,332	13,121	11,459	9,147	5,770	195
運輸	11,793	7,989	7,413	53,284	4,490	5,276	2,879	2,279	40,598	22,385	3,448	363
製造	27,733	22,990	18,461	18,738	17,557	19,520	13,593	11,992	7,600	7,095	3,812	639
電気ガス水道	13,426	21,475	15,503	11,123	8,974	10,203	6,551	6,705	8,461	5,576	2,690	4,275
金融・保険	3,273	4,570	858	805	639	737	399	421	119	442	96	369
医療	4,419	2,794	1,646	1,153	1,858	1,952	1,192	2,601	1,548	905	55	3
その他	15,982	20,021	18,249	12,534	11,548	12,770	9,445	3,028	2,196	1,754	128	701
全体	231,583	201,177	151,895	226,095	136,150	186,851	119,646	91,520	117,286	99,833	54,244	15,597



**参考： アンケート報告
ハンディターミナルの利用実態調査**

●業務用モバイル情報端末の主な製品タイプ

業務用途特化端末 専用端末

ハンディターミナル(テンキーボタン搭載端末)

- 画面サイズは2～4型台中心
- OSはWindows/Android/独自のいずれか
- 手で握る部分にテンキーボタンを伴う
- グリップ(握り)形状の有無は問わない



業務用PDA/タッチタイプの小型ディスプレイ端末

- 画面サイズは5～6型が多い
- OSはWindows/Android/独自のいずれか
- ボタンはなく、タッチ操作が基本
- 機能はスマホに近いが、堅牢な仕様



業務用タブレット・ノートパッド端末

- 画面サイズは7型以上
- OSはWindows/Android/独自のいずれか
- 機能は市販タブレットに近いが、耐久性が高く、堅牢で、現場向きの設計仕様
- 産業用タブレットとも呼ばれている



業務用途特化以外の端末 汎用端末

市販スマートフォン

- コンシューマ向けに市販されている汎用スマホ
- オフィスワーカー向け市販されている汎用スマホ(通信キャリア発売の端末やSIMフリースマホが該当)
- OSとしては、iOSもしくはAndroidによるもの



市販タブレット

- コンシューマ向けに市販されている汎用タブレット
- PCラインナップに加わっているタブレット製品が該当
- OSとしては、iOS/Android/Windows7～11によるもの



1. 調査の概要

調査名	ハンディターミナルを含む業務用モバイル情報端末のユーザーアンケート調査
調査期間	2026年2月13日(金)～2026年2月16日(月)
実施方法	インターネット定量調査
調査対象	性別:男女 年齢:20歳-69歳 ハンディターミナルの利用に関連がある業界 (製造/建設/倉庫・物流・運輸/流通・卸売・小売/金融・保険・証券/電気・ガス・水道/医療・介護/公共・文教・図書館/サービス/その他)にお勤めの方
調査サンプル	スクリーニング通過 有効サンプル数: 300サンプル 割付: 業務用途特化端末(専用端末)のユーザ: 150サンプル 業務用途特化以外の端末(汎用端末)のユーザ: 150サンプル ※スクリーニング調査: 20,000 サンプル 昨年度の調査においては、業務用モバイル情報端末としてハンディターミナルのような専用端末に加え、市販スマートフォン/タブレットも含めたことで、業界ごとに差はあれどそれらの汎用端末の業務利用が増加している傾向を確認できた。 しかし一方で、専用端末のデータが相対的に減少してしまった。 それを踏まえ、今年度は専用端末、汎用端末利用者それぞれ一定量のデータを取るために母数を上記の通り設定した。

1. 調査の概要

調査項目と 章番号一覧

【全員（業務用途特化端末および業務用途特化以外の端末のユーザ）対象】

2. 以前使用していた業務用モバイル情報端末
3. 次に使用したい業務用モバイル情報端末
4. 現在使用している端末の使用OS
5. 現在使用している端末の購入台数
6. 現在使用している端末の使用想定年数
7. 現在使用している端末選定にあたっての重視点
8. 現在使用している端末の使用用途
9. 現在使用している端末の満足度

【業務用途特化端末のユーザ対象】

10. 業務用途に特化した端末の重視点
11. 業務用途に特化した端末に欲しい追加機能、改修内容
12. 業務用途に特化した端末のアピールポイント

【業務用途特化以外の端末のユーザ対象】

13. 業務用途に特化した端末の魅力点
14. 業務用途に特化した端末に対する懸念点
15. 業務用途に特化した端末に対する今の気持ち

計14項目

全員(業務用途特化端末および業務用途特化以外の端末のユーザ)を対象としたアンケート

2. 以前使用していた業務用モバイル情報端末

【全員対象】

- 全体では、「市販スマートフォン」が28.7%でもっとも高いが、「なし」も25.7%に上り、現場のIT化が進んでいる側面が窺える。
- 【業務用途に特化した端末・計】では、「ハンディターミナル」（34.7%）が約三分の一を占めており、次いで「業務用タブレット・ノートパッド端末」（23.3%）が高い。一方、【業務用途に特化した端末以外・計】では、「市販スマートフォン」（48.7%）がほぼ半数を占めており、「ハンディターミナル」は2.0%にとどまる。

			(%)						
			ハンディターミナル (テンキーボタン 搭載された端末)	業務用PDA・ タッチタイプの小型 ディスプレイ端末	業務用タブレット・ ノートパッド端末 (テンキーボタンの 有無は問わない)	市販スマートフォン	市販タブレット	その他	なし
全体			18.3	6.0	12.7	28.7	8.3	0.3	25.7
業種	製造	68	26.5	7.4	7.4	27.9	4.4		26.5
	建設	25	4.0	12.0	24.0	24.0	4.0	4.0	28.0
	倉庫・物流・運輸	31	51.6			9.7	3.2	6.5	22.6
	流通・卸売・小売	28	32.1	3.6	14.3	21.4		7.1	21.4
	金融・保険・証券	12	16.7		33.3	16.7			33.3
	電気・ガス・水道	2			50.0			50.0	
	医療・介護	28	7.1	3.6	7.1	25.0	25.0		32.1
	公共・文教・図書館	18	5.6	11.1	16.7	27.8	11.1		27.8
	サービス	58	8.6	3.4	17.2	39.7		8.6	22.4
	その他	30	3.3	3.3	10.0	50.0		10.0	23.3
	業務用途に特化した端末・計	150	34.7		11.3	23.3		8.7	2.7
使用している 端末・機種	ハンディターミナル（テンキーボタン搭載された端末）	58	65.5			5.2	1.7	8.6	19.0
	業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末	27	33.3			44.4		7.4	3.7
	業務用タブレット・ノートパッド端末（テンキーボタンの有無は問わない）	65	7.7	3.1		49.2	10.8	4.6	24.6
	業務用途に特化した端末以外・計	150	2.0	2.0		48.7	14.0	0.7	32.0
	市販スマートフォン	111	2.7	1.8		64.0	2.0	0.9	27.9
	市販タブレット	38	2.6	2.6	5.3	47.4			42.1
	その他	1							100.0

※n=30未満は参考値のため灰色。

3. 次に使用したい業務用モバイル情報端末

【全員対象】

- 全体では、「市販スマートフォン」が34.3%でもっとも高く、次いで、「業務用タブレット・ノートパッド端末」（18.3%）、「ハンディターミナル」（17.0%）、「市販タブレット」（16.3%）が同程度で後に続く。
- 【業務用途に特化した端末・計】では、「ハンディターミナル」（34.0%）、「業務用タブレット・ノートパッド端末」（30.0%）が3割以上で高い。これに対して、【業務用途に特化した端末以外・計】では、「市販スマートフォン」（59.3%）が圧倒的に高い。

			(%)					
			ハンディターミナル (テンキーボタン 搭載された端末)	業務用PDA・ タッチタイプの小型 ディスプレイ端末	業務用タブレット・ ノートパッド端末 (テンキーボタンの 有無は問わない)	市販スマートフォン	市販タブレット	その他
全体		n=300	17.0	12.7	18.3	34.3	16.3	1.3
業種	製造	68	26.5	17.6	11.8	32.4	11.8	
	建設	25	8.0	28.0	32.0	20.0	12.0	
	倉庫・物流・運輸	31	38.7	22.6	12.9	19.4	6.5	
	流通・卸売・小売	28	21.4	10.7	21.4	35.7	10.7	
	金融・保険・証券	12	8.3	41.7	50.0			
	電気・ガス・水道	2	50.0	50.0				
	医療・介護	28	7.1	10.7	14.3	28.6	35.7	3.6
	公共・文教・図書館	18	11.1	11.1	16.7	22.2	38.9	
	サービス	58	10.3	6.9	19.0	44.8	19.0	
	その他	30	3.3	16.7	53.3	16.7	10.0	
使用している 端末・機種	業務用途に特化した端末・計	150	34.0	21.3	30.0	9.3	4.7	0.7
	ハンディターミナル（テンキーボタン搭載された端末）	58	70.7	10.3	3.4	10.3	5.2	
	業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末	27	11.1	66.7	14.8	3.7	3.7	
	業務用タブレット・ノートパッド端末（テンキーボタンの有無は問わない）	65	10.8	12.3	60.0	10.8	4.6	1.5
	業務用途に特化した端末以外・計	150	4.0	6.7	59.3	28.0	2.0	
	市販スマートフォン	111	3.6	6.3	76.6	12.6	0.9	
	市販タブレット	38	5.3	7.9	10.5	73.7	2.6	
	その他	1	100.0					

※n=30未満は参考値のため灰色。

4. 現在使用している端末の使用OS

【全員対象】

- 全体では、「Android」(31.7%)と「iOS」(30.3%)が同程度で3割を超える。
- 【業務用途に特化した端末・計】では、「Android」(26.0%)に次いで「Windows10/11」(20.7%)が高く、2割を超える。また「わからない」も24.7%あり、使用OSに対する知見がない様子が窺える。一方、【業務用途に特化した端末以外・計】では、「iOS」(49.3%)が約半数を占め、次いで「Android」(37.3%)が高い。

			OS] (49.3%) が約半数を占め、次いで「Android」(37.3%) が高い。										(%)
			n=	Android	WindowsCE/ Embedded	Windows10 IoT/11 IoT	Windows10/11	iOS	独自OS/ その他OS	わからない			
全体			300	31.7	3.3	4.3	12.7	30.3	1.7	16.0			
業種	製造	68	36.8	5.9	8.8	13.2	17.6	2.9	14.7				
	建設	25	32.0	12.0	12.0	12.0	24.0	8.0					
	倉庫・物流・運輸	31	32.3	3.2	9.7	25.8	6.5	22.6					
	流通・卸売・小売	28	17.9	3.6	3.6	50.0	25.0						
	金融・保険・証券	12	16.7	33.3	50.0								
	電気・ガス・水道	2	50.0	50.0									
	医療・介護	28	25.0	17.9	35.7	21.4							
	公共・文教・図書館	18	27.8	27.8	22.2	22.2							
	サービス	58	36.2	3.4	3.4	8.6	27.6	1.7	19.0				
	その他	30	40.0	3.3	10.0	46.7							
使用している 端末・機種	業務用途に特化した端末・計	150	26.0	6.0	8.0	20.7	11.3	3.3	24.7				
	ハンディターミナル（テンキーボタン搭載された端末）	58	25.9	5.2	10.3	12.1	5.2	5.2	36.2				
	業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末	27	48.1	7.4	7.4	11.1	7.4	3.7	14.8				
	業務用タブレット・ノートパッド端末（テンキーボタンの有無は問わない）	65	16.9	6.2	6.2	32.3	18.5	1.5	18.5				
	業務用途に特化した端末以外・計	150	37.3	0.7	0.7	4.7	49.3	7.3					
	市販スマートフォン	111	45.9	0.9	0.8	45.9	5.4						
	市販タブレット	38	13.2	2.6	13.2	60.5	10.5						
	その他	1	100.0										

※n=30未満は参考値のため灰色。

5. 現在使用している端末の購入台数

【全員対象】

- 全体では、「1～10台」（36.3％）が高く、次いで「11～100台」（20.0％）が続く。過半数が100台以下の小規模な導入である。
- 【業務用途に特化した端末・計】では、「1～10台」（32.7％）がもっとも高く、「11～100台」（24.0％）が次いで高い。これに対して、【業務用途に特化した端末以外・計】では、「1～10台」（40.0％）が特に高く、【業務用途に特化した端末・計】より7.3pt高い。「11～100台」（16.0％）は2割未満であり、より小規模な利用者の比率が高い。

			(%)						
			1～10台	11～100台	101～500台	501～1,000台	1,001～5,000台	5,001台以上	わからない
全体			36.3	20.0	7.3	4.3	2.7	5.0	24.3
業種	製造	68	27.9	27.9	5.9	4.4	2.9	2.9	27.9
	建設	25	48.0	20.0	8.0	4.0	4.0		16.0
	倉庫・物流・運輸	31	19.4	25.8	3.2	6.5	12.9		32.3
	流通・卸売・小売	28	39.3	17.9	7.1	7.1			28.6
	金融・保険・証券	12	8.3	8.3	25.0	16.7	8.3		33.3
	電気・ガス・水道	2	50.0					50.0	
	医療・介護	28	50.0	10.7	3.6	3.6			32.1
	公共・文教・図書館	18	16.7	33.3	16.7	5.6			27.8
	サービス	58	55.2	13.8	10.3	3.4	3.4	1.7	12.1
	その他	30	36.7	16.7	6.7	3.3	6.7	6.7	23.3
使用している 端末・機種	業務用途に特化した端末・計	150	32.7	24.0	8.0	6.0	1.3	5.3	22.7
	ハンディターミナル（テンキーボタン搭載された端末）	58	31.0	27.6	10.3	3.4	6.9		20.7
	業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末	27	37.0	22.2	7.4	7.4	7.4		18.5
	業務用タブレット・ノートブック端末（テンキーボタンの有無は問わない）	65	32.3	21.5	6.2	7.7	3.1	3.1	26.2
	業務用途に特化した端末以外・計	150	40.0	16.0	6.7	2.7	4.0	4.7	26.0
	市販スマートフォン	111	36.0	17.1	7.2	3.6	5.4	5.4	25.2
	市販タブレット	38	52.6	13.2	5.3	2.6			26.3
	その他	1							100.0

※n=30未満は参考値のため灰色。

6. 現在使用している端末の使用想定年数

【全員対象】

- 全体では、「4～6年以内」（29.3％）が高く、次いで「3年以内」（27.7％）が続く。6年以内が57.0％を占める。
- 【業務用途に特化した端末・計】では、「3年以内」（26.0％）、「4～6年以内」（24.7％）が同程度で、6年以内は50.7％であるのに対して、【業務用途に特化した端末以外・計】では、「4～6年以内」（34.0％）、「3年以内」（29.3％）の順に高く、6年以内は63.3％と、【業務用途に特化した端末・計】より12.6pt高く、使用想定年数がやや短い傾向がある。

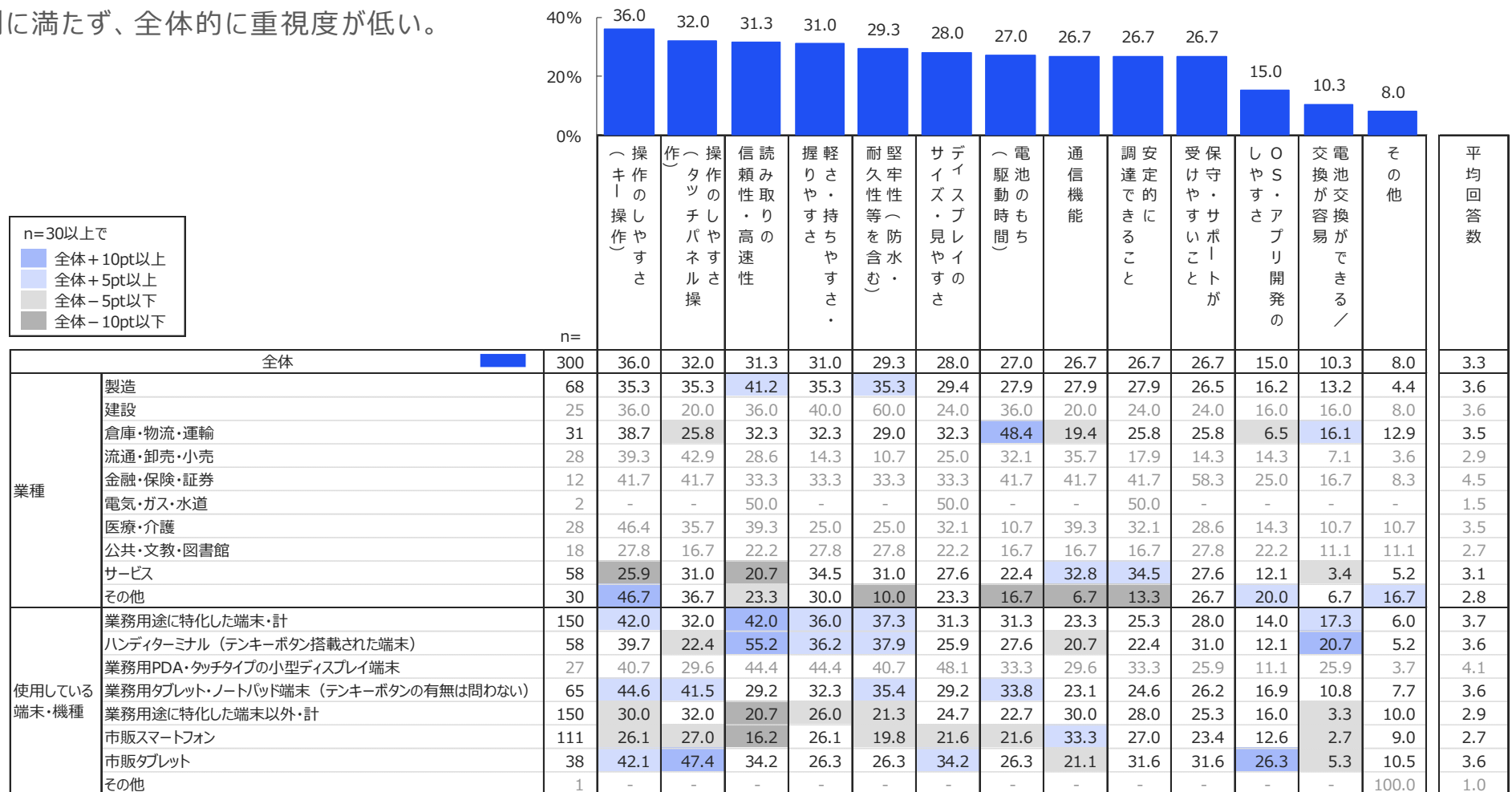
			(%)							
			3年以内の使用	4～6年以内の使用	7～10年以内の使用	メーカーのサポートが終了するまで使用する	故障するまで使用する	使用年数は定めていない	わからない	その他
全体			n=300	27.7	29.3	4.3	5.3	3.3	7.7	22.3
業種	製造	68	23.5	29.4	4.4	8.8	2.9	13.2		17.6
	建設	25	40.0	20.0		16.0	4.0	4.0		16.0
	倉庫・物流・運輸	31	19.4	22.6	9.7	6.5	3.2	9.7		29.0
	流通・卸売・小売	28	32.1	35.7						32.1
	金融・保険・証券	12	25.0	8.3	8.3			58.3		
	電気・ガス・水道	2	50.0	50.0						
	医療・介護	28	25.0	14.3	7.1	7.1	14.3			32.1
	公共・文教・図書館	18	22.2	50.0			5.6	11.1		11.1
	サービス	58	25.9	36.2		1.7	5.2	3.4	6.9	20.7
	その他	30	40.0	33.3		3.3	3.3	3.3		16.7
使用している端末・機種	業務用途に特化した端末・計	150	26.0	24.7	8.0	7.3	3.3	8.0		22.7
	ハンディターミナル（テンキーボタン搭載された端末）	58	25.9	20.7	12.1	8.6	1.7	8.6		22.4
	業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末	27	48.1	11.1	7.4	3.7	7.4	3.7		18.5
	業務用タブレット・ノートパッド端末（テンキーボタンの有無は問わない）	65	16.9	33.8	4.6	7.7	3.1	9.2		24.6
	業務用途に特化した端末以外・計	150	29.3	34.0	0.7	3.3	3.3	7.3		22.0
	市販スマートフォン	111	30.6	36.9	0.9	3.6	5.4			22.5
	市販タブレット	38	26.3	26.3	13.2	2.6	13.2			18.4
	その他	1								100.0

※n=30未満は参考値のため灰色。

7. 現在使用している端末選定にあたっての重視点

【全員対象】

- 全体では、「操作のしやすさ（キー操作）」（36.0%）が特に高く、次いで「操作のしやすさ（タッチパネル操作）」（32.0%）、「読み取りの信頼性・高速性」（31.3%）、「軽さ・持ちやすさ・握りやすさ」（31.0%）が3割を超える。
- 【業務用途に特化した端末・計】では、「操作のしやすさ（キー操作）」、「読み取りの信頼性・高速性」がともに42.0%と高く、次いで「堅牢性」（37.3%）が高い。業務の安定的な遂行に資する点が重視される。対して、【業務用途に特化した端末以外・計】では、「操作のしやすさ（タッチパネル操作）」（32.0%）、「操作のしやすさ（キー操作）」、「通信機能」（ともに30.0%）以外は3割に満たず、全体的に重視度が低い。



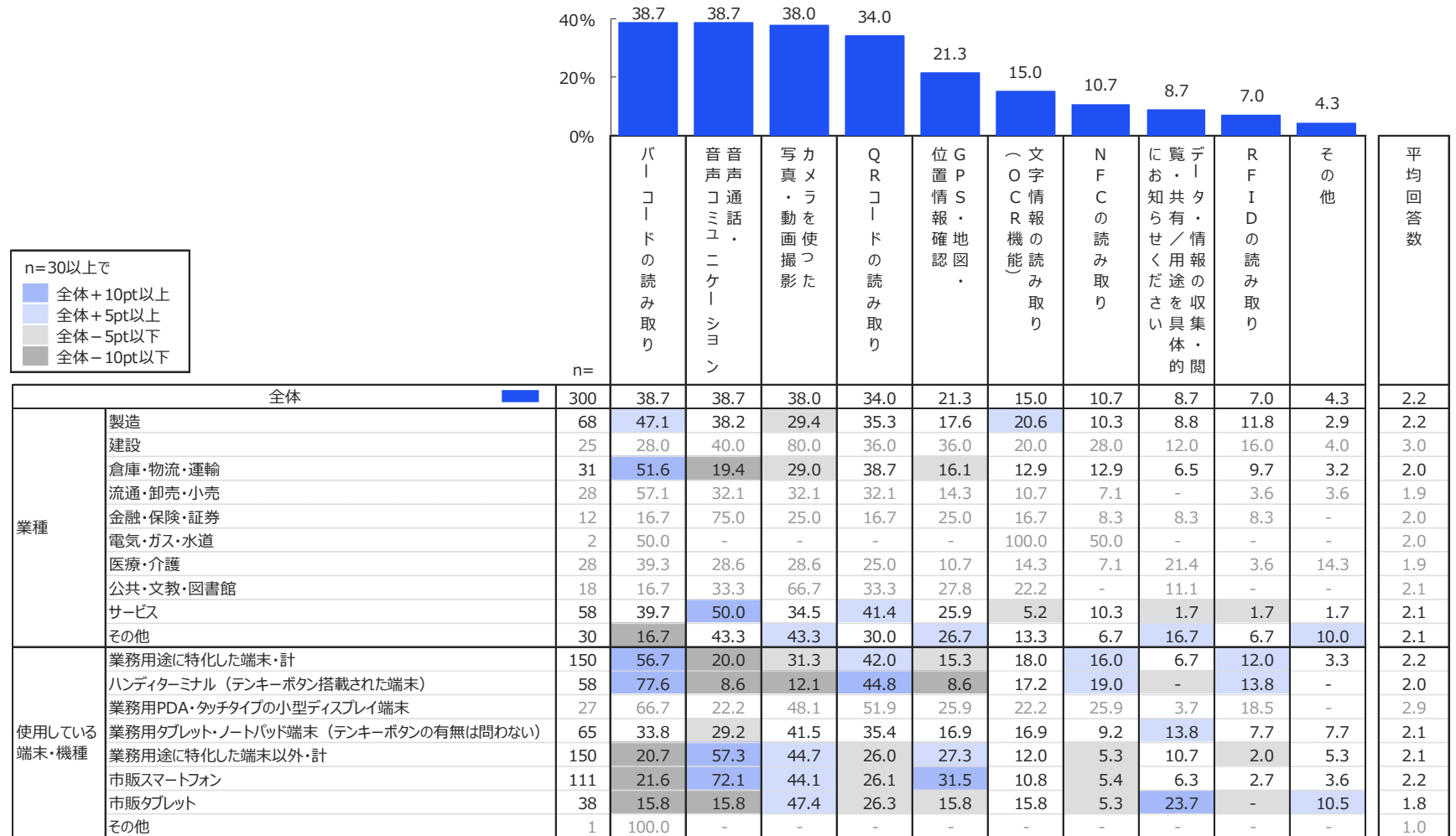
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

8. 現在使用している端末の使用用途

【全員対象】

- 全体では、「バーコードの読み取り」、「音声通話・音声コミュニケーション」（ともに38.7%）、「カメラを使った写真・動画撮影」（38.0%）、「QRコードの読み取り」（34.0%）が3割を超えており、主要な用途となっている。
- 【業務用途に特化した端末・計】では、「バーコードの読み取り」（56.7%）、「QRコードの読み取り」（42.0%）が4割を超えており、二次元コードの読み取りが特に求められている。【業務用途に特化した端末以外・計】では、「音声通話・音声コミュニケーション」（57.3%）、「カメラを使った写真・動画撮影」（44.7%）が高く、【業務用途に特化した端末・計】とは用途が異なると考えられる。



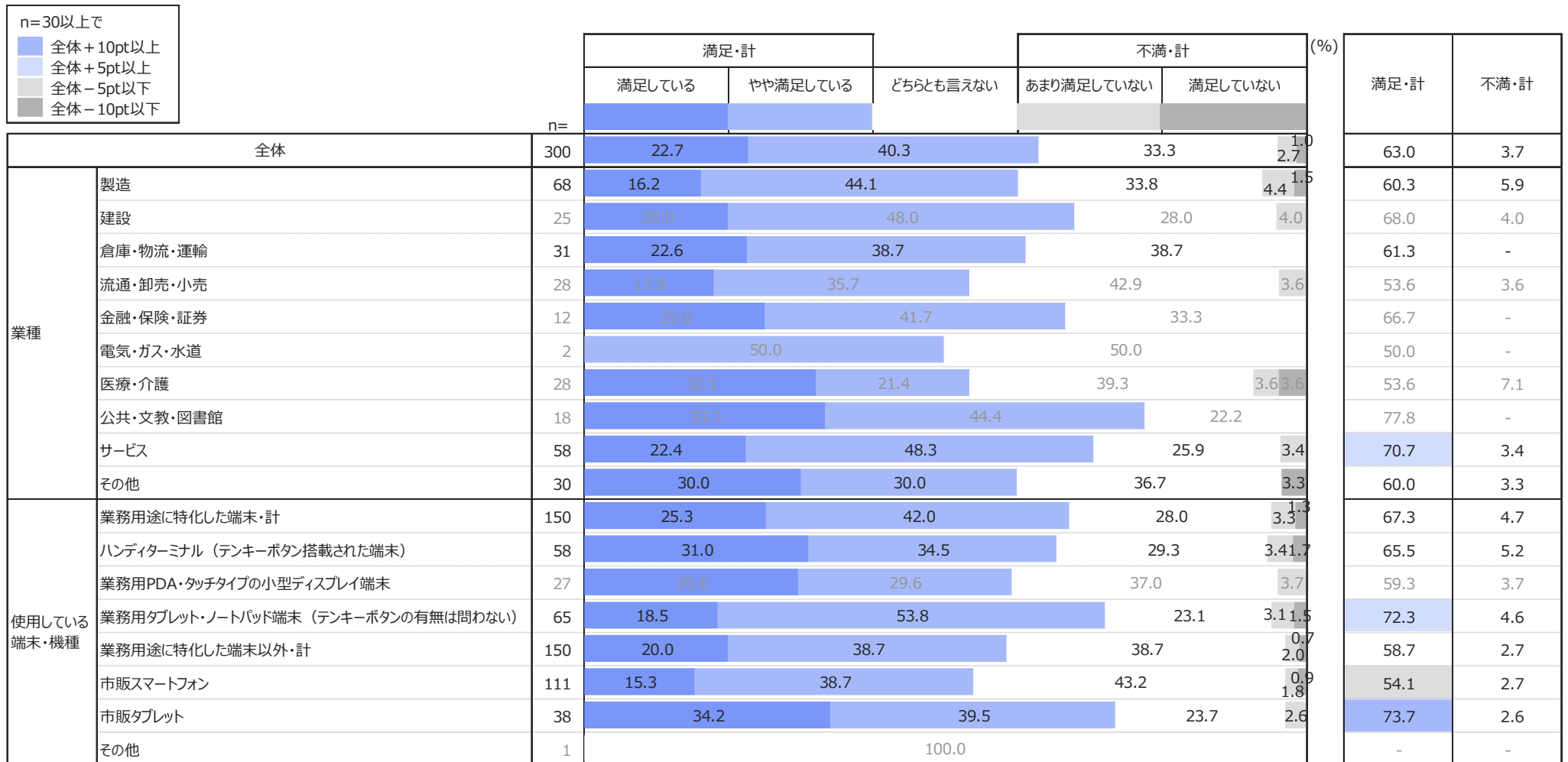
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

9. 現在使用している端末の満足度

【全員対象】

- 全体では、「満足・計」（63.0％）が6割を超えており、満足している傾向が強い。「不満・計」は3.7％にとどまる。
- 【業務用途に特化した端末・計】では、「満足・計」（67.3％）と全体より4.3pt高く、うち「満足している」（25.3％）も2.6pt高い。これに対して、【業務用途に特化した端末以外・計】では、「満足・計」（58.7％）が6割未満にとどまり、全体より4.3pt低い。ただし、「不満・計」は大差なく、「どちらとも言えない」が全体より5.4pt高い。



※n=30未満は参考値のため灰色。

業務用途特化端末のユーザを対象としたアンケート

10. 業務用途に特化した端末の重視点

【業務用途特化端末
のユーザ対象】

- 「長期にわたって、安定的に運用（使用）できること」が、「重視する・計」（70.7%）、「重視する」（44.0%）ともっとも高い。特に、「重視する」については、次いで高い「導入や故障時の保守サポートが行き届いていること」（34.7%）を9.3pt上回っている。
- 「重視する・計」については、次いで「市販のスマホ・タブレット以上の耐久性があること」（68.0%）、「導入や故障時の保守サポートが行き届いていること」（66.7%）、「同じモデルが長期にわたって調達できること」（66.0%）が高いが、「重視する」を見ると、「市販のスマホ・タブレット以上の耐久性があること」（28.0%）、「同じモデルが長期にわたって調達できること」（26.0%）は3割以下にとどまっており、必須の項目とは考えられていない。

			重視する・計			重視しない・計		(%)		重視する・計	重視しない・計
			重視する	やや重視する		どちらとも言えない	あまり重視しない				
n=											
重視項目	市販のスマホ・タブレット以上の耐久性があること	150	28.0	40.0			28.7	1.3	2.0	68.0	3.3
	長期にわたって、安定的に運用（使用）できること	150	44.0	26.7			27.3	1.3	0.7	70.7	2.0
	市販のスマホ・タブレットにはない機能があること （テンキーボタンやプリンター体型等）	150	21.3	36.7			37.3	3.3	1.3	58.0	4.7
	同じモデルが長期にわたって調達できること	150	26.0	40.0			30.7	2.0	1.3	66.0	3.3
	導入や故障時の保守サポートが行き届いていること	150	34.7	32.0			29.3	3.3	0.7	66.7	4.0
	OSバージョンの固定ができること	150	20.7	36.7			39.3	2.7	0.7	57.3	3.3
	私的利用ができないように設定ができること	150	28.7	28.7			37.3	5.3		57.3	5.3

11. 業務用途に特化した端末に欲しい追加機能、改修内容

【業務用途特化端末
のユーザ対象】

「バッテリーの長時間稼働」、「軽量化と物理的な耐久性（頑丈さ）の両立」といった、ハードウェアの基本性能向上が強く求められている。また、現場での効率性を高めるため、「処理スピードの高速化」、「操作レスポンスの改善」、「読み取り・入力機能の利便性向上」が重視されている。同時に、故障を減らし、長期間安定して運用できる「製品寿命の確保」も、実務における重要な改善ポイントとして挙げられた。さらに、耐油性・全天候対応といった「環境耐性」に加え、顔認証やAI、既存アプリとの互換性確保等、現場最適化や先端技術の導入も期待されている。

1. バッテリー性能の向上（長時間稼働）

- ・充電のもち 【医療・介護／業務用タブレット・ノートパッド端末(テンキーボタンの有無は問わない)】
- ・バッテリーの持ちを長くできるようにしてほしい 【製造／業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末】
- ・電池が長持ちすること。【公共・文教・図書館／業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末】

2. 物理的耐久性と軽量化の両立

- ・軽量で、頑丈であること 【製造／ハンディターミナル(テンキーボタン搭載された端末)】
- ・軽量化 【製造／ハンディターミナル(テンキーボタン搭載された端末)】
- ・故障が少ないこと 【医療・介護／業務用タブレット・ノートパッド端末(テンキーボタンの有無は問わない)】

3. 操作レスポンスと処理スピードの改善

- ・操作性の面でもっと簡単にレスポンスを重視して欲しい。【製造／ハンディターミナル(テンキーボタン搭載された端末)】
- ・高速化 【製造／ハンディターミナル(テンキーボタン搭載された端末)】
- ・もう少し速く処理して欲しいです 【倉庫・物流・運輸／業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末】

4. 入力・読み取り機能の利便性向上

- ・読み取りのしやすさ 【製造／ハンディターミナル(テンキーボタン搭載された端末)】
- ・テンキーやキーボードの利便性を高めてほしい 【製造／業務用タブレット・ノートパッド端末(テンキーボタンの有無は問わない)】
- ・より簡単に使いやすく 【流通・卸売・小売／業務用タブレット・ノートパッド端末(テンキーボタンの有無は問わない)】

5. 製品寿命と長期運用の確保

- ・耐用年数が高いこと 【医療・介護／業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末】
- ・可能な限り長期間使用できるようにしてほしい。【建設／ハンディターミナル(テンキーボタン搭載された端末)】

6. その他（現場最適化や先端技術への尖った要望）

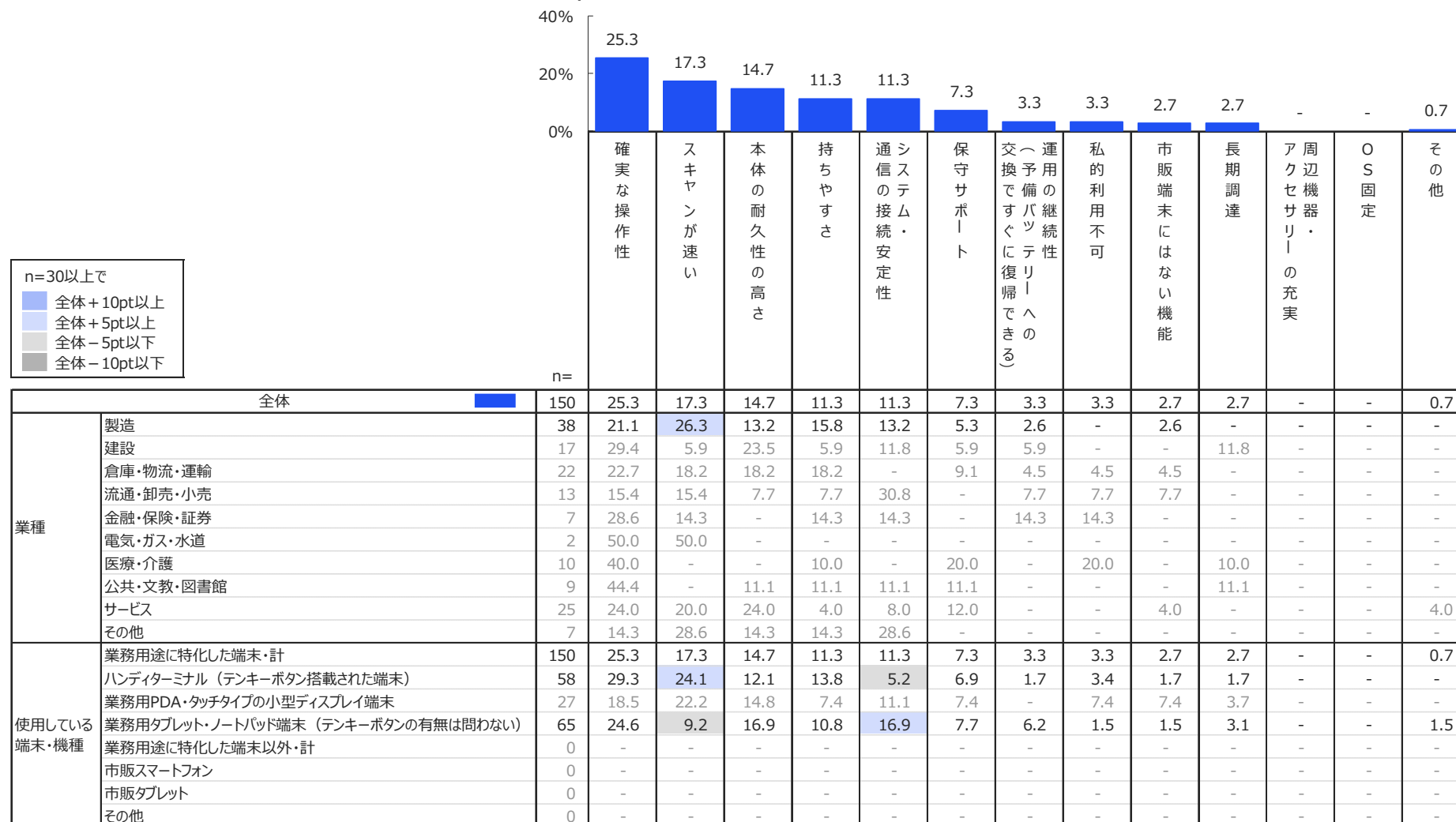
- ・[環境耐性] 耐油性の向上 【製造／ハンディターミナル】、「雨天や寒冷地でも通常使用可能なこと」【倉庫・物流・運輸／業務用PDA】
- ・[先端機能] 顔認証してほしい 【製造／業務用PDA】、音声入力 【建設／業務用タブレット】、AIの導入 【公共・文教・図書館／業務用PDA】、ハンズフリー 【製造／ハンディターミナル】
- ・[システム・運用] センターへの素早い送信機能(時々エラーになる時があるので) 【倉庫・物流・運輸／ハンディターミナル】、現在使っているアプリがそのまま起動し、過不足なく活用できる事、かつ移し替えがスムーズにできる事。【建設／業務用タブレット】
- ・[管理・保守] 私用利用制限 【サービス／業務用タブレット】、アフターサービスがしっかりしている 【その他／業務用PDA】
- ・[コスト] 価格 【その他／業務用タブレット】

(n=150)

12. 業務用途に特化した端末のアピールポイント

【業務用途特化端末
のユーザ対象】

- 全体では、「確実な操作性」（25.3%）が高く、次いで「スキャンが速い」（17.3%）、「本体の耐久性の高さ」（14.7%）である。
- 【ハンディターミナル】は、「スキャンが速い」（24.1%）が全体より6.8pt高いのに対して、「システム・通信の接続安定性」（5.2%）は6.1pt低い。反対に、【業務用タブレット・ノートパッド端末】は、「スキャンが速い」（9.2%）が全体より8.1pt低いのに対して、「システム・通信の接続安定性」（16.9%）は5.6pt高い。



※n=30未満は参考値のため灰色。

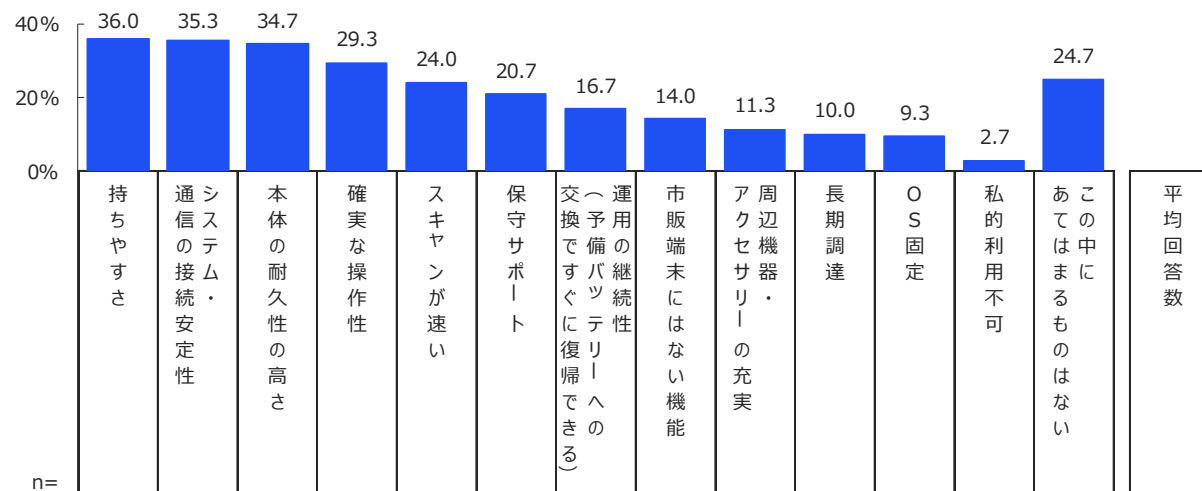
※全体の値を基準に降順並び替え

業務用途特化以外の端末のユーザを対象としたアンケート

13. 業務用途に特化した端末の魅力点

【業務用途特化以外の
端末のユーザ対象】

- 全体では、「持ちやすさ」（36.0％）が高く、次いで「システム・通信の接続安定性」（35.3％）、「本体の耐久性の高さ」（34.7％）が3割を超えており、高い。
- 【市販スマートフォン】は、「システム・通信の接続安定性」（27.9％）が全体よりやや低い。それに対して、【市販タブレット】は、「システム・通信の接続安定性」（57.9％）、「持ちやすさ」（50.0％）が半数以上であり、特に高い。



n=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

全体			n=														
業種	製造	30	36.7	33.3	36.7	23.3	23.3	23.3	13.3	13.3	20.0	13.3	13.3	3.3	33.3	2.5	
	建設	8	37.5	50.0	37.5	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	25.0	2.6	
	倉庫・物流・運輸	9	33.3	33.3	33.3	55.6	22.2	33.3	22.2	-	11.1	11.1	-	11.1	11.1	2.7	
	流通・卸売・小売	15	20.0	26.7	20.0	26.7	13.3	6.7	-	13.3	-	13.3	-	-	40.0	1.4	
	金融・保険・証券	5	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	40.0	2.4	
	電気・ガス・水道	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	医療・介護	18	50.0	50.0	38.9	44.4	27.8	27.8	27.8	11.1	16.7	16.7	5.6	5.6	27.8	3.2	
	公共・文教・図書館	9	44.4	22.2	44.4	22.2	11.1	22.2	22.2	22.2	-	-	22.2	11.1	11.1	2.4	
	サービス	33	45.5	30.3	39.4	24.2	27.3	18.2	18.2	18.2	9.1	6.1	9.1	-	15.2	2.5	
	その他	23	17.4	39.1	26.1	26.1	26.1	17.4	17.4	13.0	13.0	8.7	17.4	-	21.7	2.2	
	使用している 端末・機種	業務用途に特化した端末・計	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハンディターミナル（テンキーボタン搭載された端末）		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
業務用PDA・タッチタイプの小型ディスプレイ端末		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
業務用タブレット・ノートブック端末（テンキーボタンの有無は問わない）		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
業務用途に特化した端末以外・計		150	36.0	35.3	34.7	29.3	24.0	20.7	16.7	14.0	11.3	10.0	9.3	2.7	24.7	2.4	
市販スマートフォン		111	31.5	27.9	31.5	26.1	26.1	18.9	12.6	13.5	9.9	8.1	7.2	0.9	27.9	2.1	
市販タブレット		38	50.0	57.9	44.7	39.5	18.4	26.3	28.9	15.8	15.8	15.8	15.8	7.9	13.2	3.4	
その他		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

14. 業務用途に特化した端末に対する懸念点

【業務用途特化以外の
端末のユーザ対象】

懸念点としては、市販品と比較した導入・維持コストの増大や、独自の操作体系に変わることによる習熟への不安が主に挙がっている。専用端末特有の「大きく重い」というイメージによる機動力の低下や、ネット検索等のマルチな使い勝手が損なわれる汎用性の欠如も危惧されている。故障時の対応スピード通信の安定性、既存の認証システム（多要素認証等）との互換性といった実務上の運用リスクも具体的な指摘として挙げた。

総じて、現在使用しているスマートデバイスの利便性が失われることへの心理的・実務的なハードルが、専用端末導入の大きな障壁となっていると言える。

1. 導入・維持コストの増大 市販品と比較した際の調達コストや、維持管理費への不安がもっとも多く見られる

- ・調達額の高騰 【公共・文教・図書館／市販タブレット】
- ・さらにコストがかさむ点。【金融・保険・証券／市販スマートフォン】
- ・価格及び保守費用 【その他／市販スマートフォン】

2. 操作性・習熟への不安 使い慣れたスマートフォンやタブレットから、独自の操作体系に変わることへの心理的ハードル

- ・慣れるまで時間が掛かりそう。【流通・卸売・小売／市販タブレット】
- ・操作がうまくできるかわからない 【医療・介護／市販スマートフォン】
- ・使いこなせない 【サービス／市販スマートフォン】

3. サイズ・重量による機動力の低下 特化端末ゆえの「大きく、重い」というイメージが、持ち運びの負担として懸念されている

- ・スマートフォンよりは持ちにくいという点 【製造／市販スマートフォン】
- ・大きいので持ち運びが大変そう 【建設／市販スマートフォン】
- ・重くてデカイ 【倉庫・物流・運輸／市販スマートフォン】

4. 汎用性・柔軟性の欠如 業務専用になることで、これまでのマルチな使い勝手（事務作業やネット検索など）が損なわれる懸念

- ・柔軟性がなく、必要な機能が追加できない 【医療・介護／市販スマートフォン】
- ・オフィスでの利用用途がない 【その他／市販スマートフォン】
- ・他の用途でも使用できる方が良いので、私の用途には特化端末は厳しいと思います。【サービス／市販タブレット】

5. 保守・セキュリティ・通信品質 故障時の対応スピードや、独自のシステム環境における動作安定性への懸念

- ・故障したとき代替機が来るまでに時間がかかる 【医療・介護／市販タブレット】
- ・セキュリティ関連がどうなのか基になる。【サービス／市販スマートフォン】
- ・どの程度国内の4G回線に対応しているか 【その他／市販タブレット】

6. その他（現場の鋭い懸念や具体的リスク）

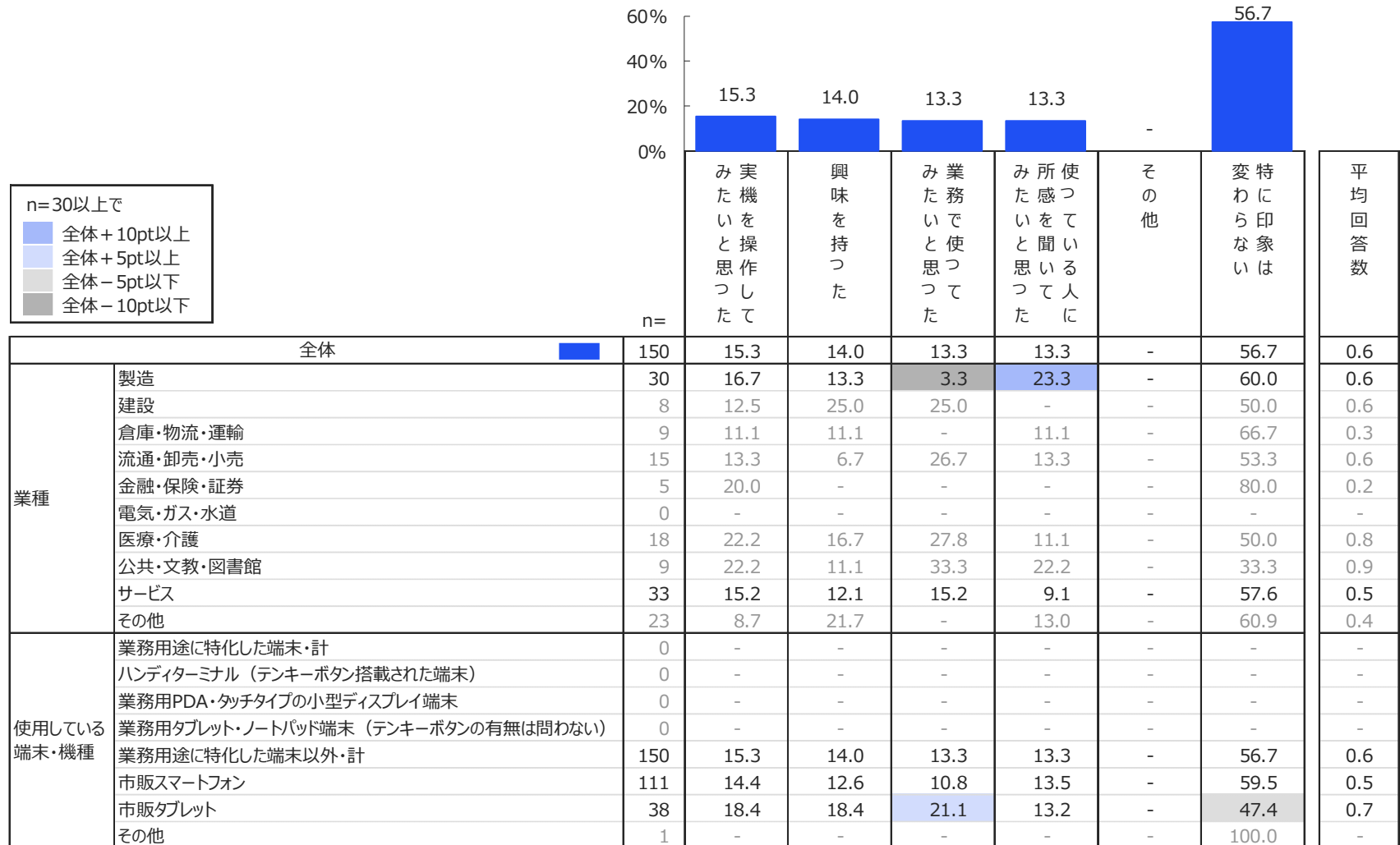
- ・[認証・システム] MFA（多要素認証）が使えなくなるシステムが出てくると思う 【サービス／市販スマートフォン】、会社の独自OSがあり、使用できないのではないかと 【建設／市販スマートフォン】
- ・[精度・管理] GPSが誤作動のないものが必要 【その他／市販スマートフォン】、ログの追跡 【倉庫・物流・運輸／市販タブレット】
- ・[利便性] インターネットが使いにくい 【製造／市販スマートフォン】、タブレットと2台持ちはいらない 【製造／市販スマートフォン】
- ・[必要性の疑問] 業務用のものを使わないと思う 【建設／市販スマートフォン】、必要性があるのか？ 【その他／市販スマートフォン】

(n=150)

15. 業務用途に特化した端末に対する今の気持ち

【業務用途特化以外の
端末のユーザ対象】

- 全体では、「特に印象は変わらない」（56.7％）が過半数を占めている。各項目とも15％前後であり、大きな差異は見られない。
- 【市販スマートフォン】は、全体とほぼ差がないが、【市販タブレット】は「業務で使ってみたいと思った」（21.1％）が全体（13.3％）より7.8pt高い。



※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え



JEITA ハンディターミナル専門委員会 2025年度活動報告

ご清聴ありがとうございました